

ストーバル社のフローセル装置の参考文献

ストーバル社のフローセル装置のプロットタイプは過去3年間、多くの研究者によってバイオフィルム培養のために使用され、成功を収めてきました。このフローセルを使用した研究内容が下記の刊行物に掲載されています。

Christensen BB, Sternberg C, Andersen JB, Palmer RJ Jr, Nielsen AT, Givskov M, Molin S.

Molecular tools for study of biofilm physiology.
Methods Enzymol. 1999;310:20-42. Review.

Heydorn A, Ersboll BK, Hentzer M, Parsek MR, Givskov M, Molin S. Related Articles

Experimental reproducibility in flow-chamber biofilms.
Microbiology. 2000 Oct;146 (Pt 10):2409-15.

Mathee K, Ciofu O, Sternberg C, Lindum PW, Campbell JI, Jensen P, Johnsen AH, Givskov M, Ohman DE, Molin S, Hoiby N, Kharazmi A.

*Mucoid conversion of *Pseudomonas aeruginosa* by hydrogen peroxide: a mechanism for virulence activation in the cystic fibrosis lung.*
Microbiology. 1999 Jun;145 (Pt 6):1349-57.

Nielsen AT, Tolker-Nielsen T, Barken KB, Molin S.

Role of commensal relationships on the spatial structure of a surface-attached microbial consortium.
Environ Microbiol. 2000 Feb;2(1):59-68.

Ramos C, Licht TR, Sternberg C, Krogfelt KA, Molin S.

Monitoring bacterial growth activity in biofilms from laboratory flow chambers, plant rhizosphere, and animal intestine.
Methods Enzymol. 2001;337:21-42.

Sternberg C, Christensen BB, Johansen T, Toftgaard Nielsen A, Andersen JB, Givskov M, Molin S. Related Articles

Distribution of bacterial growth activity in flow-chamber biofilms.
Appl Environ Microbiol. 1999 Sep;65(9):4108-17.

Tolker-Nielsen T, Molin S.

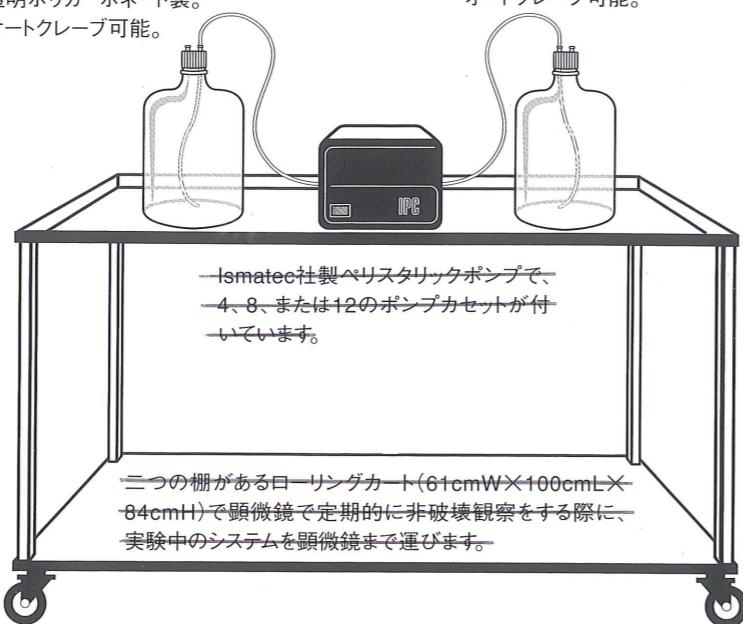
Spatial Organization of Microbial Biofilm Communities.
Microb Ecol. 2000 Aug;40(2):75-84.

スタートアップのための周辺機器

このフローセルシステムを使用して実験を行なう上で、各種の周辺機器が必要となります、それらの機器も用意されています。

4ℓまたは10ℓのメジューム容器で、
フィッティングとチューピングアタッチ
メント付。
透明ポリカーボネート製。
オートクレーブ可能。

4ℓ流出液用容器で、フィッティング
とチューピングアタッチメント付。
透明ポリカーボネート製。
オートクレーブ可能。



各フローセルは、3つの別個の成長チャンネルを持っています。各チャンネルは、それにメジュームを供給するために1つのポンプカセットを必要とします。このカートは1つの実験のために、最大4つのフローセルを受け入れるように設計されています。(12成長チャンネルの場合)

フローセル用ガラスカバースリップの特注コーティング

標準的な3つのチャノバーになっているフローセルは、1枚の#1ガラスカバースリップ(厚さ0.13~0.16mm)が張り付けられています。ストーバル社は、ガラスカバースリップに、広範囲の金属、ポリマー、その他のコーティングをして提供することができます。これらの薄いコーティングは、コートされたガラスに付いたバイオフィルムの成長の顕微鏡観察を妨げるものではありません。あなたの実験に必要とされるコーティングの種類についてご連絡ください。

販売代理店



トーワラボ株式会社

東京:〒102-0073 東京都千代田区九段北1-6-2
TEL:03(3262)9615(代) FAX:03(3511)1440
つくば:〒300-3261 茨城県つくば市花畠3-12-16
TEL:029(864)2541(代) FAX:029(864)2544

※製品の仕様、価格等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

bip06606A

バイオフィルム作製・観察用フローセルシステム

For On-line Study of Biofilms



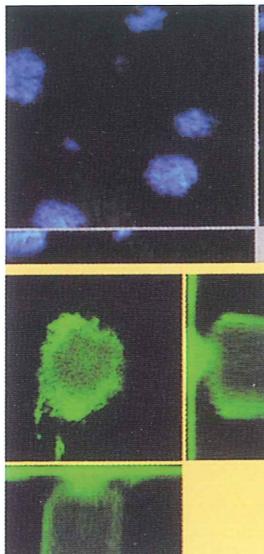
トーワラボ株式会社

連続培養チャンバーを基本にしたバイオフィルム研究用のシステム。

バイオフィルムの作製・観察・研究が、

顕微鏡下において、リアルタイムで、非破壊で行なえます。

ストーバル社はバイオフィルム研究者に対してバイオフィルムの作製、またバイオフィルムの直接、非破壊、オンラインでの顕微鏡観察のために、安価で、ディスポーザブル（滅菌済）のフローセルシステムを提供致します。フローセル、バブルトラップ、連結用のチューブは、密閉されたパッケージの中に完全に組み立てられており、ガムマ線滅菌されています。バイオフィルムの実験を開始する際に封を開け、それをメジュームボトル、そしてペリスタリックポンプに接続するだけで、容易に実験の準備ができます。一回毎の使用ですので、一つの実験から次の実験へ移る際に、装置に残渣が残るのを防御でき、面倒なエチレンオキサイド滅菌、次亜塩素酸殺菌を行う場合の滅菌時間が節約できます。さらにバブルトラップは、メジュームの流れにわずかな陽圧を作り出し、それによりフローセルへの送液中に起きる好ましからざるペリスタリックポンプの脈流を和らげます。

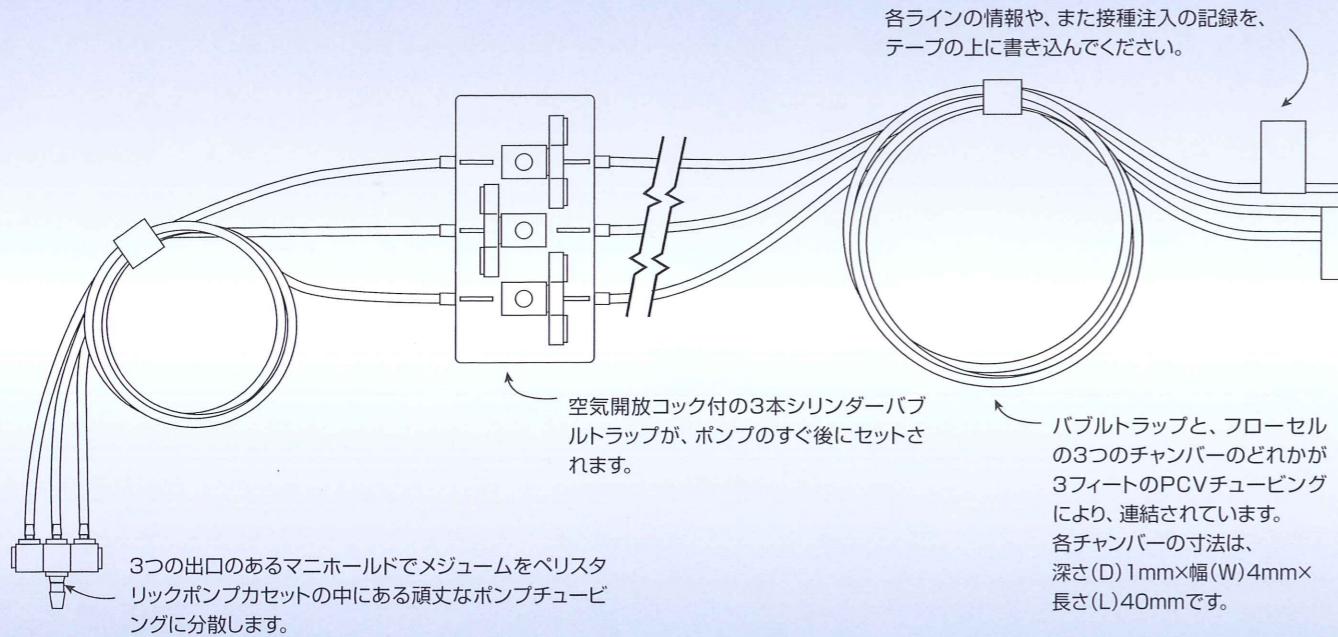


生物顕微鏡 VS. 共焦点顕微鏡

今までの生物顕微鏡はバイオフィルム開発に使用可能ですが、しかしながら、バイオフィルムが形成され、その厚さが増えるにつれて、視野の焦点が合わない場所が出てきて、良い映像を得るのが難しくなります。スキャニング共焦点レーザー顕微鏡がこの問題を解決します。それは、短距離に点在する多くの面をスキャンすることで、バイオフィルムの三次元画像が再構築できるからです。

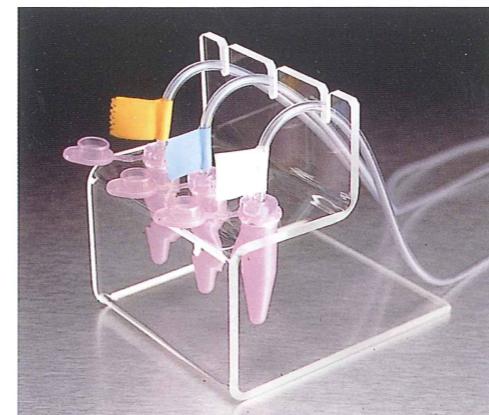
フローセルシステムの構成要素

組み立てられたフローセルシステムは下図のように構成されています。



バブルトラップ

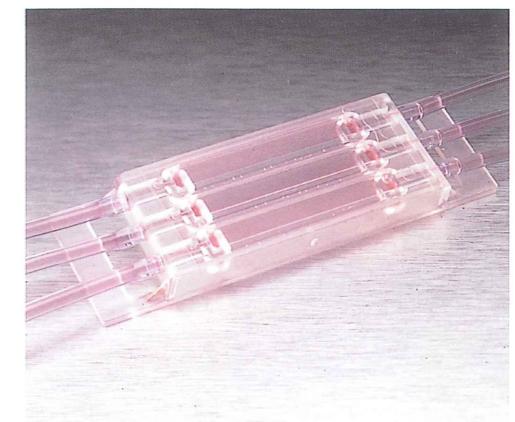
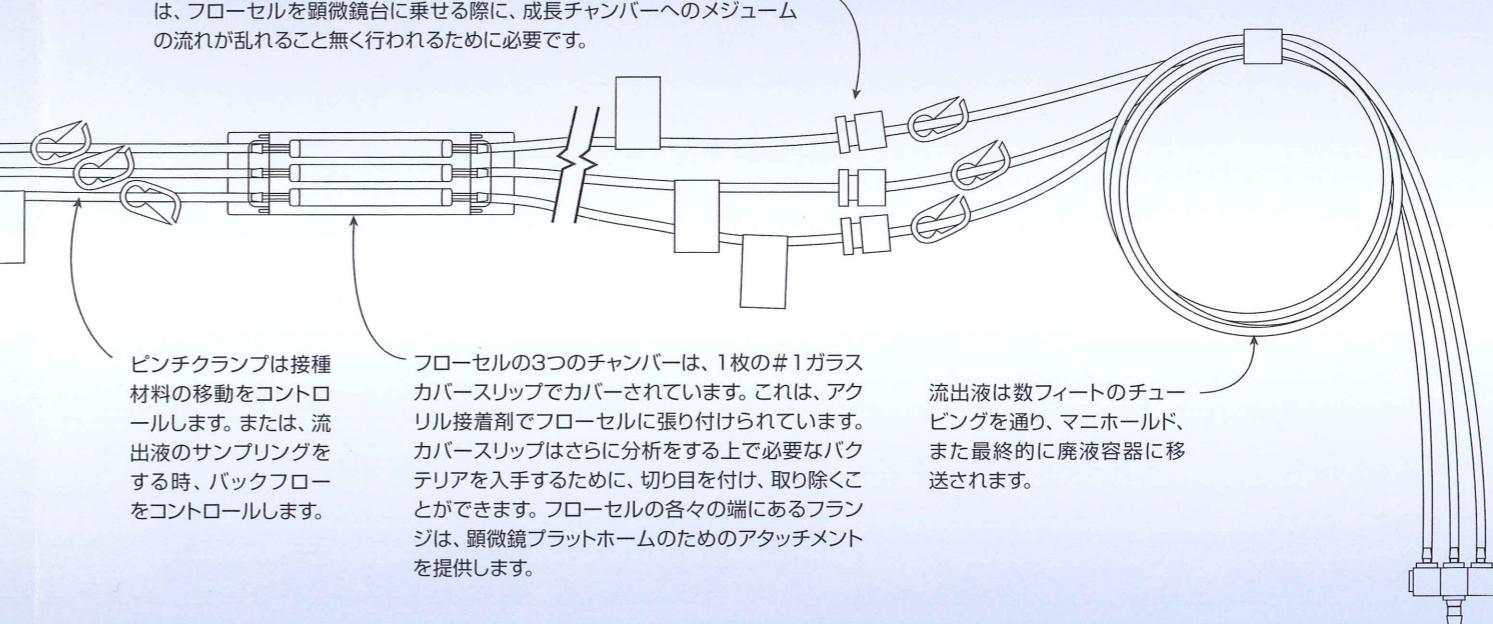
空気開放コック付の3本シリンドーバブルトラップは流れているメジュームから放出された気泡を捕えます。シリンドー内部で“泉”の噴出により、液体の流れが上方になり、気泡のより良い放出が行なえます。空気開放コックにより、捕集された空気の量の制御が可能で、またペリスタリックポンプの脈流を和らげるために、通過する液体の圧の調節が可能です。



ルアーコネクター & 流出液を収集するためのラック

流出チューピングのルアーコネクターは、簡単にロックの解除が行なえ、分析を行なうための流出液の収集が可能です。

流出液の流れは、ルアーコネクターで停止することができます。ルアーコネクターは、分析のため、いずれかのバイオフィルムチャンバーから流出液を収集する際、簡単にロックの解除が行なえます。チューピングの過剰分は、フローセルを顕微鏡台に乗せる際に、成長チャンバーへのメジュームの流れが乱れること無く行われるために必要です。



3チャンネルフローセル(接続されたチューピングとガラスカバースリップ付)

フローセルの3つのチャンネルが1枚の#1ガラスカバースリップでカバーされていて、アクリル接着剤でセルに張り付けられています。カバースリップはさらに分析をする上で必要なバイオフィルムを入手するために、切り目を付け、取り除くことができます。

各チャンネルの寸法は、深さ(D) 1mm×幅(W) 4mm×長さ(L) 40mmです。流入と流出のチューピングは段のあるフィッティングに取り付けます。カラーテープによりどの流路かが識別できます。